

2021 年度 シラバス

科目名 教育のユニバーサルデザイン 特論 (R3 認定通信)	単位数 4 単位	担当教員 阿部利彦
--------------------------------------	-------------	--------------

テキスト

- (1) 阿部利彦 (2017) 『通常学級のユニバーサルデザイン・スタートダッシュ Q&A55』東洋館出版社
- (2) 阿部利彦 (2017) 『決定版！授業のユニバーサルデザインと合理的配慮』金子書房
- (3) 阿部利彦 (2015) 『通常学級のユニバーサルデザイン・プラン ZERO 2 授業編』東洋館出版社

科目の概要

教育のユニバーサルデザインとはより多くの子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。本科目では、おもに①通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくり、②合理的配慮（知的障害、学習障害、LD、ADHD 等への支援を含む）と教育のユニバーサルデザインの融合による支援のあり方、③ユニバーサルデザインに関わる教育の動向（海外も含む）、に関して検討・考察する。

I 科目の目的・ねらい

- 1 教育のユニバーサルデザイン化について理解する
- 2 教育のユニバーサルデザインと主体的・対話的で深い学びとの関連性を理解する
- 3 授業のユニバーサルデザインの考え方をいかした授業実践について考える

II 授業計画と評価

- 第 1 回 ユニバーサルデザインとは何か
- 第 2 回 障害者基本法からみたユニバーサルデザイン
- 第 3 回 合理的配慮・基礎的環境整備とユニバーサルデザイン
- 第 4 回 インクルーシブ教育と授業づくり・学級づくり
- 第 5 回 学び手のつまずきを想定する
- 第 6 回 教育のユニバーサルデザインとは
- 第 7 回 授業のユニバーサルデザイン～視覚化、焦点化、共有化の視点で
- 第 8 回 授業のユニバーサルデザイン～5つのテクニック
- 第 9 回 各教科における授業のユニバーサルデザイン
- 第 10 回 教室環境のユニバーサルデザイン
- 第 11 回 人的環境のユニバーサルデザイン

第12回 共感を高める学級づくり
第13回 学びのユニバーサルデザイン (UDL)
第14回 授業のユニバーサルデザインと ARCS モデル
第15回 ペア、グループ演習における配慮
科目修得試験

評価については、レポート 50%、科目修得試験 50%の割合で行う。

Ⅲ学修の流れ

1. 指定のテキストを読んで学習を進める。
2. レポートを書き、学生ポータルサイトより提出する。
3. 科目修得試験の申し込みをする。
4. レポート合格後、科目修得試験を受験する。

Ⅴ参考文献

柘植雅義 (2014) 『ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり』金子書房

Ⅵその他 なし